

# ふるさと Something NEWS

第41回

## レミングの寓話が目的とビジョンを教えてくれる

一般社団法人 光楓座 代表理事 佐藤建吉

レミングは、レミングにと  
り始めた。  
の社会は少  
しずつ変わ  
り始めた。

### はじめに

『エミーとレニー 2匹のねずみのお話』という本がある。120ページほどの小冊子で、前編が83ページ、後編が37ページからなる。前編のうち28ページにはネズミの挿絵が描かれている。絵本でもなく、小説でもない。表題のように、「お話」であるが、そこで語っているのは、生き方であり、本当はマネジメントへのヒントを提供する教科書でもある。なるほど、後編は、「あなたを変えるためのヒント」と「グループデイスカッションのための問いかけ」であり、指針を提供している。

著者は、デービッド・ハチェンスという著述家・講演者で、ストーリー・テラー(講談師)を自称している。まだ若手のアメリカ人である。この本の原著は2000年の発行で、日本語訳版は、

経営コンサルタンの伊藤武志氏により日本能率協会マネジメントセンターから2001年に出版されている。筆者は、千葉大学大学院の講義「環境マネジメント論」で、2週間程度の本を教材に取り上げ、課題解決のヒントにしていた。以下、本書を紹介し、風力発電開発と関連づけたい。

このお話では、若いメスオスのネズミの会話と行動、そして彼らの棲むレミングの村の慣習を寓話として、自分自身と組織に新しい可能性を生み出すためのプロセスを例示している。「目的」を掘り起し、それらの意味を掘り起し、実現の可能性を確かにしてくれる。それを先導するリーダーとしての人材が、組織の人と共有する重要性を伝えてくれる。それは、問いかけと納得する答えを自分で見出すことであると思う。

経営コンサルタンの伊藤武志氏により日本能率協会マネジメントセンターから2001年に出版されている。筆者は、千葉大学大学院の講義「環境マネジメント論」で、2週間程度の本を教材に取り上げ、課題解決のヒントにしていた。以下、本書を紹介し、風力発電開発と関連づけたい。

そのために、レミングは、かなり長い間「集団自殺をする」と考えられていた。スカンディナヴィアでは「集団で海に飛び込む」ということが伝説になっていたが実際にいる際に一部の個体が海に落ちて溺れ死ぬことはあるが、自殺ではなく事故であり、すべての個体が海で溺れ死ぬことはない。また、レミングは泳ぎがうまく、集団移住の際に川を渡ることはよくあるともいえる。

地下の穴の中に、7、8匹のレミングが輪になっていた。フレイミングというレミングが言った。「よく来てくれたわね」「ここは、グループス」という集会所。その名に新しい社会を作ろうという新しい意味が込められているのよ。エミーは聞いた。「ノリープスがしたいことか?」「みなさんが、レミングのためにしたいことか?」「つくりたいことは何?」

「おわり」

### レミングとは

原著は『The Learning Line』であるが、レミングというネズミの行動を題材にしている。レミングは、ウキペディアでも解説されているが、北極近辺に棲み、その個体数が3〜4年周期で急激に増減するとい、激減原因についてはよくわかっていないが、餌の不足や天敵による捕食が原因であると考えられている。また個体数が増加すると、集団移住を始める

「エミーとレニー」

エミーは集会所での議論の様子をみていて、疑問がわく。「レミングたちの多くは、崖から飛び降りる理由とか、自分が何のためにここににいるのか、自分がしたいことは何か、なんて考えないで、崖からジャンプしているんじゃないかしら」「それとは反対に、ここにいてみんなは、とにかく自分たちがしたくないことについてだけを考えているのね」「ジャンプするだけの生き方もジャンプしないだけにも生き方も、どちらでも同じことを考えているレミングに会わせてやるの?」「ついでにお

話をまた続く。その主要なところは、エミーが、草原の村の恒例行事のジャンプ祭の日、ほかの人はジャンプするのであるが、自分はゴムのパチンコで、谷の向こうの木を目指して飛ぶ。その様子をレニーが見て応援した。

### 『エミーとレニー 2匹のねずみのお話』

『エミーとレニー』のお話では、メスネズミのレニーが主役のお話である。レニーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び降りる理由とか、自分が何のためにここににいるのか、自分がしたいことは何か、なんて考えないで、崖からジャンプしているんじゃないかしら」「それとは反対に、ここにいてみんなは、とにかく自分たちがしたくないことについてだけを考えているのね」「ジャンプするだけの生き方もジャンプしないだけにも生き方も、どちらでも同じことを考えているレミングに会わせてやるの?」「ついでにお

話をまた続く。その主要なところは、エミーが、草原の村の恒例行事のジャンプ祭の日、ほかの人はジャンプするのであるが、自分はゴムのパチンコで、谷の向こうの木を目指して飛ぶ。その様子をレニーが見て応援した。

### 『エミーとレニー 2匹のねずみのお話』

『エミーとレニー』のお話では、メスネズミのレニーが主役のお話である。レニーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び降りる理由とか、自分が何のためにここににいるのか、自分がしたいことは何か、なんて考えないで、崖からジャンプしているんじゃないかしら」「それとは反対に、ここにいてみんなは、とにかく自分たちがしたくないことについてだけを考えているのね」「ジャンプするだけの生き方もジャンプしないだけにも生き方も、どちらでも同じことを考えているレミングに会わせてやるの?」「ついでにお

話をまた続く。その主要なところは、エミーが、草原の村の恒例行事のジャンプ祭の日、ほかの人はジャンプするのであるが、自分はゴムのパチンコで、谷の向こうの木を目指して飛ぶ。その様子をレニーが見て応援した。

### 『エミーとレニー 2匹のねずみのお話』

『エミーとレニー』のお話では、メスネズミのレニーが主役のお話である。レニーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び降りる理由とか、自分が何のためにここににいるのか、自分がしたいことは何か、なんて考えないで、崖からジャンプしているんじゃないかしら」「それとは反対に、ここにいてみんなは、とにかく自分たちがしたくないことについてだけを考えているのね」「ジャンプするだけの生き方もジャンプしないだけにも生き方も、どちらでも同じことを考えているレミングに会わせてやるの?」「ついでにお

話をまた続く。その主要なところは、エミーが、草原の村の恒例行事のジャンプ祭の日、ほかの人はジャンプするのであるが、自分はゴムのパチンコで、谷の向こうの木を目指して飛ぶ。その様子をレニーが見て応援した。

### 『エミーとレニー 2匹のねずみのお話』

『エミーとレニー』のお話では、メスネズミのレニーが主役のお話である。レニーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び込む(前述の自殺すること)の例えを、ある草原のレミングの村の恒例行事を思っているが、エミーはその行動に納得がいけない。それで、エミーは他の仲間と、「どうして私たちは崖から飛び降りるの?」「どうして私たちが崖から飛び降りるの?」

「エミーは、崖から飛び降りる理由とか、自分が何のためにここににいるのか、自分がしたいことは何か、なんて考えないで、崖からジャンプしているんじゃないかしら」「それとは反対に、ここにいてみんなは、とにかく自分たちがしたくないことについてだけを考えているのね」「ジャンプするだけの生き方もジャンプしないだけにも生き方も、どちらでも同じことを考えているレミングに会わせてやるの?」「ついでにお

話をまた続く。その主要なところは、エミーが、草原の村の恒例行事のジャンプ祭の日、ほかの人はジャンプするのであるが、自分はゴムのパチンコで、谷の向こうの木を目指して飛ぶ。その様子をレニーが見て応援した。



日本能率協会マネジメントセンター

連載・イベント

エミーがレニーの考えを聞いて言った。「あなたが行きつかけにレミング